

人と音を結び
Classic Nagoya
クラシック名古屋
〒460-0024
名古屋市中区正木四丁目8番7号れんが橋1F
TEL(052)678-5310 FAX(052)678-5330
<http://clanago.com>
プレイガイド
アイチケット
☎0570-00-5310

ナゴヤ劇場ジャーナル

◆発行/マネージメント・プロ ◆編集/プランニングオフィス白壁 ◆協賛/クラシック名古屋

MP MANAGEMENT PRO
①舞台イベントの企画制作・マネージメント
②芸術コンサルティング
③タレントのマネージメント
④ナゴヤ劇場ジャーナルの発行

株式会社 マネージメント・プロ
〒461-0004 名古屋市中区東区2-11-22 アバンテッジビル305
TEL: 052-508-5095 FAX: 052-508-5097
E-mail: mane-pro@mane-pro.com
HP: <http://www.mane-pro.com>

2020年(1-12月)に名古屋地区で行われた舞台公演(音楽部門)を振り返る。コロナ禍で多くの公演が中止になった。残念なこと

愛知室内オケ、石川馨栄子 桑野郁子、ヴィオラッシモ

(撮影・駒田のぶゆき)



オピッツを迎えた愛知室内オーケストラ

門を振り返る。コロナ禍で多くの公演が中止になった。残念なこと

そんな状況の中で目立ったのが愛知室内オーケストラ。2015年から常任指揮者を務めた新田ユリが、得意とする北歐音楽に力を注ぎ、同オケを成長させた。新田の退任が決まり、最後にドイツの巨匠オピッツを迎え、ベートーヴェンのピアノ協奏曲全5曲を一日で演奏(12月26日・しらかわホール)したのは画期的だった。

室内楽集団アンディアーモに続いて、新たなグルーブ「レーベインムジック」によるフォーレの室内楽全曲シリーズ(全5回)をスタートさせた(11月1日・同)。名古屋の一流メンバー揃いで、フォーレ作品が大いに堪能できそうだ。

名フィルのヴィオラ奏者10人による「ヴィオラッシモ」は、神奈川フィルのヴィオラ奏者5人を迎え、5回目的のコンサート(11月16日・電気文化会館)も、半年遅れとなった。石川は、第30、31、32番の最後の3曲を、精神的な深みまで巧みに表現したのが印象に残った。

ピアノの桑野郁子が、厚な音色を響かせた。

※入舞踊部門V入演劇部門Vは次号に掲載します。

本紙が選ぶ2020ベストステージ(音楽部門)

稲垣舞比、四代目家元を継承

3月25日 御園座「稲垣流豊美会」で披露



「操り三番叟」を踊る稲垣舞比



稲垣友紀子



稲垣 詩麻

母・友紀子は宗家、娘・詩麻は新名取に

名古屋に拠点を置く日本舞踊稲垣流が3月25日(午前10時30分)御園座で第70回記念「豊美会」を催す。この公演を期に、三代目家元・友紀子が宗家に、長女の舞比が四代目家元を継承する。この公演は昨年8月に予定されていたが、コロナ禍で延期され、二代目・豊美の十三回忌と

舞比は幼少から祖母・豊美(二代目家元)の手ほどきを受け、4歳で初舞台。その後は母・友紀子とともに創作舞踊の名手・山路曜生のもとで研さんを積み、22歳で稲垣流の師範になった。しっとりとした優美な舞踊を身上とする友紀子と異なり、舞比は躍動的で男性的な舞踊を指向。抜きん出た身体能力と若い感性で地元舞踊界の注目を集め、その踊りっぷりは「二代目豊美」譲りと

林美春 打楽器リサイタル

3月25日 芸術劇場で「せんはうたう」



さまざまな楽器を使い演奏する林美春

打楽器奏者の林美春が、3月25日(午後7時)愛知県芸術劇場小ホール

が、3月25日(午後7時)愛知県芸術劇場小ホール

で打楽器リサイタル「せんはうたう」を開く。コロナ禍で、2度の延期を経ての開演。林は「自らがステップアップするため、どうしても実現したい公演」と入れ込む。「せんはうたう」は、望月通陽の線画に、谷川俊太郎が詩を付けた詩画集のタイトル。この本を手にした瞬間、私の心を心地よい風が吹き抜けた」と林。詩と線画から受けた感動を、さまざまな打楽器を使って再現。舞台

背面には詩画集の線画が投影される。林は2009年に愛知県立芸大を卒業。現代音楽に視点を据えた打楽器奏者としてスタートを切ったが、「子供のためのコンサート」を契機に、音楽と幼児教育について勉強したくなり、19年に名古屋市立大学大学院(人間文化研究科)に進学。「幼児の打楽器を使用した音楽表現活動とコミュニケーション」についての学習を続けている。

◆推奨公演◆

「アイ・ラヴ・ステージ」
2月20日(いずれも午後2時)アトピアホール。20日はミュージカルナンバーを塚本伸彦、佐野文彦らが歌う。21日はオペレッタ。出演はやかもとかよ、鏡木勇樹ら。両日とも管弦楽は小島岳志・指揮のセントラル愛知交響楽団。いずれも全指定席4000円。TEL052(249)66807。

実現させたい！歌とストレッチの健康ライブ

シャンソンの扉

144 七瀬 紫



子育てと歌手活動に奮闘する七瀬

七瀬は芸名だが、紫は本名。「紫(むらさき)」と書いて「ゆかり」と読ませる。平安前期に編纂(さん)された「古今和歌集」に由来する読み方で、「人を大切に思う気持ち」を表すという。まったく漢字は面白い。

生まれはドイツ。「父が転勤族でした。1985年に生まれ、5歳までドイツで過ごし

愛知教育大学(福祉コース)在学中にバンド活動に熱中。友人を介して「エルム」との縁に恵まれシャンソンに傾倒。「ドラマ性豊かなシャンソンを歌うと、自分が実現させてほしい。

レオタードのご購入 **送料 無料**
1枚からでも大丈夫
DanSkate
住所 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄3丁目1-23
白川本町ビル5F
(大須駅南口のすぐ上)
電話番号 052-625-7300
パソコン・スマホからのご注文は <https://danskate.com>

稲垣流(豊美会)のスタートは1946年。初代の家元が50年に亡くなり、その妹である豊美が後を継いだ。歌舞伎の澤瀉屋(おもたかや)一門と親交が深く、記念公演の度に四代目・市川段四郎らが特別出演し、会を盛り立てた。

さて70回の記念公演。舞比は「春興鏡獅子」で家元継承を披露。宗家となる友紀子は、珍しい富本(とみもと)節の「花小袖(振付・山路曜生)を踊る。また名取となる舞比の娘・詩麻が「京の四季」を踊る。親子三代が披露を行う、めでたい公演になる。

二代目と苦楽を共にしたベテラン勢も元氣。最古参の豊美穂は「鶯娘」・豊美恵は「千代の友鶴」を踊る。傘寿を迎える友紀子の「京鹿子娘道成寺」も見逃せない。また豊華、友紀洋、舞

蝶、美湖の4人が師範披露。詩麻、凛美の2人が名取披露を行う。澤瀉屋一門からは宗家立花流の家元・車扇と宗家・寶山が客演し「連獅子」を見せる。地方(演奏陣)は長唄の杵屋巳津也、杵屋勝十郎、鳴物の住田長三郎、福原百華ほか。

子供たちの、打楽器を使った音遊びを通して、音楽の必要性あるいは劇場の社会的な役割を提案したい」と意気込む林だ。

リサイタルの共演はピアニストの山田亮、朗読はミュージカル俳優の森悠希乃。

一般前売り2500円、学生1500円(当日は各500円増し)。チケットの予約、問い合わせは miharutai@gmail.com (林美春)。

伊藤敬「戦争を語り継ぐ演劇公演」第7弾

3月11―14日・東文化小劇場で「アニーさん」

「感染症の恐怖、さまざまに制限。世界が未曾有の困難に陥っているこの時期だからこそ、生きる希望と愛の尊さを描いたこの作品を上演する意義があるんです」(演出家・伊藤敬)。

2013年にスタートした伊藤敬の「戦争を語り継ぐ演劇公演」シリーズ第7弾「アニーさん」が3月11―14日(毎日午前11時と午後3時・全8回)東文化小劇場で公演される。長年にわたり生涯学習開発財団の理事長を務めた松田妙子・著私には後悔しない兵隊とアニーの愛の生涯を伊藤が劇化・演出する愛と誠(まこと)の物語である。時は明治末期の1907年。福祉を学ぶため米



率先して演技を示す伊藤敬(左から2人目)で、1回1回に全力です」と伊藤は「演

国に留学していた兵隊子、平蔵は大橋匠。ほかに末吉康治、上田定行、内藤美佐子、すきうらこしはる、三雲二三、渡部千枝、池戸陽平、野畑幸治ら伊藤組の常連が集つた。「第一回江崎演劇賞」受賞後初の出演となる小嶋彩群の動きを見せた小島は「(伊藤)敬先生の作品への強い思い、原作に描かれているアニーの強さ、優しさ、大きな刺激を受けました。(コロナ禍で)稽古日数が少ないので、1回1回に全力です」と伊藤は「演



劇はフィクションによって成り立つ芸術ですが、私は『事実の重みと、事実が伝える力』を最重視して演出に臨んでいます。不安と困難を承知しながらも冒険心

名古屋市立大学と市文化振興事業団が連携し

学生の力で『芸どころ』を活性

「『芸どころ』時代の劇場と地域文化」のタイトルで、昨年11月に連携協定を結んだ名古屋市立大学(以下・名市大)と名古屋市文化振興事業団(以下・事業団)がシンポジウムを共催した(同年12月23日・瑞穂文化小劇場)。

名市大には芸術工学部があり、事業団では施設提供やインターシッパ(学生の職業体験)を受け入れている。また同大には現代音楽作曲家の水野みか子が教授として在籍しており、今回の連携協定の橋渡しをした。シンポジウムには名市



次代のエース予感させる逸材も

0円。なお、この公演は3月13、14日(全4回)リアルタイムでインターネット配信(有料)される。問い合わせは052(719)0430、東文化小劇場。

大教授の鈴木賢一、吉田一彦、阪井芳貴。事業団からは文化振興部長の棟方三代がパネリストとして参加。水野が司会進行を務め、舞台芸術の映像配信について現状と方向性を話し合った。

名市大に在籍する押山晶子の電子音楽、林美春の打楽器演奏、学生有志らによる雅楽が披露され、写真、今後の連携活動にさまざまな可能性を示した(文中敬称略)。

三代舞踊団 ジャズダンスの三代舞踊団が「30周年記念クリスマス公演」(20年12月13日・アートピアホール)を行った。毎年数回

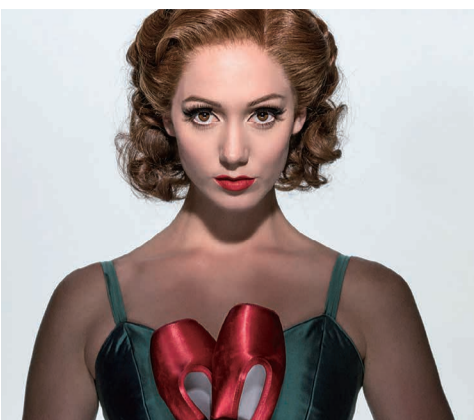
の公演、それに加えて海外ツアーを行ってきた舞踊団だが、今年がコロナ禍で、今年が初めて最後の公演になった。

演技の前に、主宰の三代真史が自ら編集した15分ほどの映像が上演された。30年の歩みをつづったものだが、その躍動感あふれる編集テクニックに感心した。何をやってもサマになるのが三代である。

全編新曲(一部は既存曲)で奏でられた楽曲は、華やかな舞台を盛り上げることに、400余年の時間の持つ物語の深みにも寄り添った。若い2人が未来に向かって飛び立ち、鯉姫らの名古屋への思いなどが語られ、時代が巡ってゆく大詰めは、とても印象深く描かれた。

名古屋から世界へ飛躍した三代舞踊団。その原動力になったのは、三代、徳武徹、種山雅之ら男性陣のチームワークだった。芸術監督の坂本久美子は「ゼロからの新たな30年を目指す」と語った。次の三代の登場を待ちたい。

マシュー・ボーンの新作バレエ



ヒロインを演じるアシュリー・ショー

「赤い靴」20日から名演小劇場で公開

特選映画

バレエ界のカリスマ振付家、マシュー・ボーンの新作「マシュー・ボーン IN CINEMA / 赤い靴」

が、スクリーンで世界公開され、2月20日から名演小劇場で公開される。アンデルセンの名作童話を原作に、1948年に制作された大ヒットした英国のバレエ映画「赤い靴」

のマシュー版である。スターダンサーを夢見るヴィクトリアの愛と野望の物語。彼女は敏腕プロデューサーに非凡な才能を見いだされ、瞬く間にバレエ団のスターに成長。有望な若い作曲家と恋に落ちるが…。

このフィルムは、世界がコロナ禍に覆われる直前の2020年1月に、ロンドンのサドラーズ・ウェルズ劇場での公演を収録したものの。マシューは「映画としての上映は、全英はもちろん、世界中の多くの場所に作品を届けることができる」とメリットを語っている。

問い合わせは052(931)1701、名演小劇場。

時代を超え伝わる名古屋への思い



名古屋城天守物語(撮影・杉原一馬)

舞台批評

創の会旗揚げ公演

名古屋の日本舞踊家、邦楽演奏家らが流派を超えて集った「創の会」(代表・五條園美)が、旗揚げ公演「名古屋城天守物語」を行った(20年12月12、13日・芸術創造センター)。

静弘、振付は五條園美。名古屋城内に秘蔵されていた金の延べ板が消えた事件を、城に宿る鯉姫と本丸を守る4人の姫、御健奉行や侍女らが、残された扇を元に推理。襖(ふすま)絵の妖怪や大風で飛ぶ若者らが入り乱れる幻想絵巻。鯉姫の工藤寿々弥、四代、結月櫻、花柳碧優愛は華やか、艶やか、凛と

「フンナよ、木からおりてこい」肉強食や「自然界の法則」を説いた児童文学の秀作である。

会場に入る、舞台を挟むように客席場人(動)物たちがカエ

出演者に年配の男性が多いのも俳優館の特徴で、同じ高年齢者としては心強い。だからというわけではないが、若い女優たちの、せりふの絶叫はいたらない。

祭り、連想した奇抜な舞台運び

総合劇集団俳優館

総合劇集団俳優館が、水上勉の「フンナよ、木からおりてこい」(脚本、演出・平塚直隆)を上演した。動物社会を引用し「弱肉強食」や「自然界の法則」を説いた児童文学の秀作である。

が配置され、大道具は皆無。物語のシンボルである「大きな椎の木」をどう表現するのか、曲者・平塚が、この作品をどう演出するのか、興味津々で開演を待った。

芝居が始まると、何も無い舞台に人海戦術で櫓(やぐら)を組み上げドラマが展開する。それを解体して芝居が終わる。祭りのように華々しく、櫓が解体され運び出されれば空虚感が漂う。面白い演出だった。

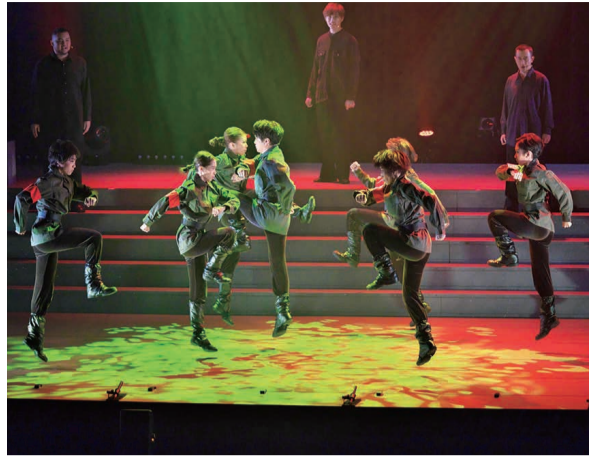
(20年12月24―26日・芸術劇場小ホール)。

舞台批評

「キミのために散る」

前回の公演からわずか1年。芳しくなかった作品が一転し、秀作に変身した。メニコンビジネスアシスト制作のミュージカル「キミのために散る」

ドラマ活性化させた鮮烈ダンス



「キミのために散る」のダンスシーン

（原作・あおい英斗演出・右来左往）
第二次大戦期に多感な時節を過ごした日・米の若者たちを描いた反戦ドラマ。劇団四季ほかで活躍した大田翔、宝塚歌劇団出身の蘭乃はなを主演に、塚本伸彦、舟橋香里ら地元の実力者をそろえた贅沢な布陣である。

前回と比べ作品の印象を大きく変えたのは、名鶴ダンスカンパニーの出演である。それもエースの佐藤嘉代らトップダンサー5人。彼女らが展開するさまざまなフォーメーション（振付・名鶴ひとみ）は、ドラマのダイナミズムと、作品の芸術性を格段に引き上げた。私は前回の公演批評で「戦時中の描写が甘すぎる。脚本も演技も演出も踏み込みが足りない」と書いた。しかし今回は俳優陣の意気込みが違った。ダイナミックなダンスに触発されたのではないかな。

音楽回想ひとり語り

日本では、ダーク・ダックスが「雪よ岩よ...」と歌った「雪山讃歌」として知られている。作詞は、後に南極越冬隊の隊長を務めた西堀栄三郎で、山男の心情を表した。

原題は「My Darling Clementine」。訳詞「このタイトルを付けた西部劇が「荒野の決闘」(ジョン・フォード監督、1946年)の邦題で知られる名作。ヘンリー・フォード演じる保安官ワイアット・アープが、ほのかな恋心を抱く女性の名がクレメ

西部劇ファンを魅了したアリゾナの絶景



アリゾナ州モニュメント・バレー

多くの歌手が歌っているが、私はミッチ・ミラー合唱団が好きだ。映画は「OK牧場の決闘」の実話を基にしている。ラストの決闘シーン

もいろいろ、人物の心情が巧みに描かれ、全体を通して抒情的なのがとてもいい。ジョン・フォード監督が好んで撮影した場所がアリゾナ州モニュメント・バレー。荒野に岩山がそびえる風景が印象的で、「荒野の決闘」や「駅馬車」などフォード西部劇には必ず登場する。昔から西部劇ファンの中には、15年前に現地を訪れて、しばし映画の余韻に浸った。元はアメリカの民謡。カリフォルニアのゴールドラッシュ時代、一獲千金を夢見た鉱夫の娘で溺死したクレメメンタインを思慕する内容だ。

(文・写真・植田三郎)

2台のピアノで大曲の志を再現

「第九」リスト版



演奏する石川馨米子と竹内功

名古屋ナポリ賞を受賞しイタリアへ短期留学している。「第九」といえば100人規模のオーケストラに4人のソリスト、100人規模の合唱団が定番だがそれはそれ。私は初めて聴くピアノ版に期待を込めて全集中した。おなじみのフレーズがピアノで演奏される。歌がないのは確かに物足りないが、ベートーヴェンが「第九」に託した壮大なビジョンは、それなりに表現できていた。たのしみ

達者な仏語上回る日本語の口舌

川出祥代シャンソン



川出 祥代

シャンソン歌手・川出祥代がコンサート(20年12月8日・芸術劇場小ホール)を開いた。コロナ禍中もあり、客の入りは芳しくなかった。名古屋生まれ、金城学院大学出身だが活動の拠点は東京に置いている。名曲の「月」、川出が訳詞した「ラ・ボエーム」など日本語歌詞のもの。川

イノック・アーデン Enoch Arden
言葉と音楽、そして世界
お人好しで、おしゃべりのミリアム・レインの回想
2021
1回目 2.27(土) 11:00開演 [10:30開場]
2回目 2.27(土) 14:00開演 [13:30開場]
3回目 2.28(日) 14:00開演 [13:30開場]
チケット料金(全席自由)
【一般】前売 2,500円/当日 3,000円
【高校生以下】前売・当日ともに 1,500円
メニコンビジネスアシスト(MBA)イベント・クリエイション部
電話 052-935-1630 (平日10:00~18:00)
HITOMIホール
名古屋市中区葵三丁目21番19号 メニコンANEX 5F

「第九」は△、「クリスマス」は○

年末の名フィル

年末の名フィルといえは華やかな「第九」と「クリスマス」。しかし今年のはコロナ禍中での開催。第九(20年12月18、19日・芸術劇場コンサートホール)はオケも合唱も大幅に人員削減され、芳しい出来ではなかった。一方の「クリスマス・コンサート」(12月24日・同)は弾んだ。これまでアカデミー賞を5回、グラミー賞を25回受賞している米映画音楽の巨匠ジョン・ウィリアムス(88歳)の作品を特集。指揮はウィリアムスのアシスタントを務めたことのある原田慶太楼が務める。実現を祈りたい。

(ウエノ)

私たちが「ナゴヤ劇場ジャーナル」を応援します
人数を制限した空間・お昼の明るい時間に於いて、心を癒し楽しむ音楽
心のワクチン 限定8名 2/12金 ゲスト歌手 岩城康子 カンパ制
人生のオアシス 限定15名 2/19金 Coffret de son 岡山加代子 & ピアノ・カホン ¥6,000
2/23火 Etoile Charmante 芹沢祥子 & アルバ・ピアノ ¥6,000
平和希求ライブ 限定15名 2/22月 ゲスト歌手 青山桂子 ¥4,000
会場：カフェ・コンセル・エルム (千種区吹上2-4-5)
open 13:30 start 14:00 TEL 052-733-0085

朴葵姫 (パクキョヒ)
デビュー10周年 ギター・リサイタル

2021年 3月14日(日) 18:00開演 (17:45開場)
三井住友海上ビルホール

藤田真央
Mao FUJITA Mozart Piano Sonata Cycle

2021年 3月19日(金) 18:45開演 (17:45開場)
三井住友海上ビルホール

マリコとオペラ!
音楽家・作曲家のトーク・コンサート

2021年 3月24日(水) 18:45開演 (18:00開場)
三井住友海上ビルホール

上原宏の
☆音楽☆
聴き歩き

カその周辺(20年12月4日・電気文化会館)。ロシア音楽の父と言うべき、外せない作曲家だ。ミハイール・グリンカ



ロシア音楽研究会
愛知ロシア音楽研究会の第11回公演は「グリンカとその周辺(20年12月4日・電気文化会館)」。ロシア音楽の父と言うべき、外せない作曲家だ。ミハイール・グリンカ

第24回 スーパークラシックコンサート

佐渡裕 Yutaka Sado & Kyohei Sorita
with **反田恭平** Kyohei Sorita
with Japan National Orchestra

3月4日(木) 18:45開演 (17:45開場)
愛知県芸術劇場コンサートホール

チケット: 5席/11,000円 A席/9,000円 B席/7,000円 C席/6,000円 D席/5,000円 E席/2,000円 (全席指定/税込)

難曲もサラリ、日本歌曲で本領
大橋多美子(メゾソプラノ)大橋多美子のリサイタル「ゆりかごのうた」(20年12月1日・電気文化会館)は、定評のある日本歌曲で本領を發揮した。



最初はR・シュトラウス。これは日本歌曲がドイツ歌曲の影響を受けたこと、そして次に歌ったその同時代人・北原白秋の詩による「ゆりかごのうた」(作曲・草川信)「砂

美子(川畑久子、メゾソプラノ)木村洋子、寛聰子(代表)、テノール永井秀司、ピアノ渡辺理恵子、武内俊之吉永哲道、金田紗希里の10人。

最初と最後をデュオにしたのが良かった。ロシア民謡を思わせる、さわやかで懐かしいメロディーが印象的だった。唯一残念だったのは、恒例の解説がなく、グリンカや周辺の人物像がつかみにくかったこと。

「Xマスはオルガンだ」
年末恒例となった「Xマスはオルガンだ」(20年12月22、23日・愛知県芸術劇場コンサートホール)。今回はハープとの共演だった。



「クリスマスはオルガンだ!」(撮影・中川幸作)
意外にマッチしたハープとの共演
県出身の中堅として、大型で音量豊かなパイプオルガンと繊細な音色のハープの組み合わせだが、意外にマッチした。

稲熊 佐江子
ピアノリサイタル

2021年 3月12日(金) 19:00開演 (18:30開場)
ザコンサートホール

全自由席 一般3,000円 (学生2,000円)

片岡 博明 KATAOKA HIROAKI
フラウト・トラヴェルソリサイタル

2021年 3月13日(土) 19:30開演 (14:00開場)
電気文化会館 ザコンサートホール

石川 馨栄子 Piano Recital
KAEKO ISHIKAWA

2021年 3月20日(土) 14:00開演 (13:30開場)
ザコンサートホール

奏でる人を聴きたい人へ 人と音を結ぶ
クラシック名古屋
052-678-5310
名古屋市中区正木4-8-7 れんが橋ビル1F

クラシックコンサートのチケットは
アイ・チケット 0570-00-5310
(11:00~16:00 ※土日祝休)

アイ・チケット web 検索
※お好きな時間にお好きな席を選んでクリック!!
スマホチケット【電子チケット】導入。(利用できない公演もあります)
カード決済・コンビニでのお支払いができます。

クラシック名古屋のプレイガイド
「アイ・チケット」
多くのクラシックコンサートのチケット販売から、ホール、座席のことでオペレーターが丁寧に対応いたします。
ホームページからもチケット購入ができる、便利なクラシック専門のプレイガイドです。